

- 第1条 本会は宮崎県立高鍋高等学校同窓会「鳴海ヶ丘会」と称し、事務局を宮崎県立高鍋高等学校内におく。
- 第2条 本会は会員相互の親睦を図り、母校の進展に寄与すると共に、地方文化の推進中核団体として文化国家の建設に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会はその目的を遂行するため、次の事業を行う。
1. 会報及び会員名簿の発行。
 2. 母校の後援並びに母校新卒業生の同窓会入会式。
 3. 講演会・音楽会などの開催・及びその他目的達成のため必要な事業。
 4. 功労者等の表彰。詳細内規は別に定める
- 第4条 本会は次の会員をもって組織する。
1. 正会員・・・宮崎県立高鍋高等学校卒業生、鶴友会会員、みどり会会員並びに本校に在学したもの。
 2. 特別会員・・・宮崎県立高鍋高等学校現教職員、旧教職員並びに鶴友会、みどり会の特別会員。
 3. 賛助会員・・・本会の主旨に賛同し、評議員会の承認を得た者。
- 第5条 本会は次の役員を置き、次の任務を司る。
1. 会 長（1名）・・・会を代表し、会務を統括する。
 2. 副会長（若干名）・・・会長を補佐し、会長事故ある時は会長を代行する。
 3. 監 事（2名）・・・会の事業及び会計の監査に当る。
 4. 鳴海ヶ丘会館館長（1名）・・・会館の運営並びにその維持、管理に当る。
 5. 支部長・・・支部を司り、会長の諮問に応ずると共に、緊急重要事項の審議に任ずる。
 6. 評議員・・・会の運営を司り、会長の諮問に応ずると共に、緊急重要事項の審議に任ずる。
 7. 事務局長（1名）・・・本会と母校との連絡及び事務処理に任ずる。
 8. 理 事・・・会長、副会長、監事、顧問、鳴海ヶ丘会館館長、支部長は理事となり、会の運営を司り、会長の諮問に応ずると共に、緊急重要事項の審議に任ずる。
- 第6条 本会の役員は次の手続きをもって選出する。
1. 会 長・・・正会員の中より理事会が推薦し、評議員会の議を経て総会によって選出する。
 2. 副会長・・・同上
 3. 監 事・・・同上
 4. 鳴海ヶ丘会館館長・・・正会員の中より理事会が推薦し、会長が委嘱する。
 5. 評議員・・・各卒業期ごとに2名、及び鶴友会、みどり会より若干名各々選出し会長が委嘱する。
 6. 事務局長・・・正会員の中より母校在職者を会長が委嘱する。
- 第7条 本会の役員の任期は2年とし、再任を妨げない。任期中途において欠員を生じ、その補充をする場合、後任者の任期は前任者の残任期間とする。
- 第8条 本会は顧問を置くことができる。顧問は理事会の承認を得て会長が委嘱する。但し、学校長並びにPTA会長は顧問とする。
- 第9条 本会の会議は次の通りとし、次の議決をする。
1. 総 会・・・会員全員をもって組織し、年1回これを開き、予算・決算の承認、役員の選出・承認、及び、会則の変更等重要事項の議決をする。議長は総会において選出する。
 2. 評議員会・・・役員全員をもって組織し、重要事項の審議に当る。議長は副会長が務める。
 3. 理 事 会・・・理事をもって組織し、会の運営に関する事項、並びに、緊急重要事項を決議する。但し、緊急決議事項は、評議員会に報告し承認を得なければならない。議長は副会長が務める。
 4. 三役会・・・会長、副会長、事務局長（必要に応じて顧問）をもって組織し、年3回（各学期1回）これを開き、会の運営に関する事項、並びに、緊急重要事項を審議する。

第10条 本会の会議の決議は出席の過半数をもって決する。賛否同数のときは会長がこれを決する。但し、理事会は2分の1以上の出席者をもって成立するものとする。

第11条 本会の経費は下記をもって充当する。

1. 会費・新たに正会員となるものは、会費月額400円を在学期間中を通じて納入するものとする。但し、途中でその資格を失っても、納会費は返納しない。

2. 寄付金・事業収入・特別会報購読料・その他の収入。

第12条 本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

第13条 本会の事務を処理するため、事務局に会計係及び庶務係を置く。全項の係員は会長が委嘱する。

第14条 本会は必要に応じて支部を置くことができる。支部規定は別に定める。

第15条 本会の会則は総会に出席した会員の過半数の同意がなければ、変更することができない。

附 則

1. 本会設立と同時に鶴友会・みどり会の資産は全て本会に引き継ぐものとする。

2. 本会則は昭和24年5月22日より施行する。

3. 本会則は昭和62年8月15日改正。

4. 本会則は平成5年8月14日改正。

5. 本会則は平成11年8月12日改正。

6. 本会則は平成16年8月14日改正。

7. 本会則は平成22年8月28日改正。

8. 本会則は平成28年8月13日改正。

第3条4項内規

1 表彰規定

(1) 目的

この規定は本会及び高鍋高等学校の発展に貢献し、功労のあった者、並びに在学中において学業、部活動等で優秀な成績を修めた生徒及び、生徒会活動や文化的活動において優れた実績を残した生徒を表彰し、もって本会の活動の活性化を図ることを目的とする。

(2) 表彰者

表彰者は会長と校長とする。

(3) 表彰内容

表彰は次の賞状と必要に応じて副賞を付与することができる。

1 功労者表彰及び感謝状

(永年にわたり役員を務め、本会の発展にすこぶる貢献した者。)

2 育英会会長賞

(内規は校内で定める。)

3 その他

(4) 選考

1 三役会において選考し、理事会で承認を得て、総会で報告を行う。

2 育英会会長賞においては、本校の三年学年会で推薦し、校長の承認を得た者を表彰する。

2 慶弔規定

本会の慶弔等に関する規定は、次のとおりとする。

(1) 役員(顧問、会長、副会長、監事、支部長、館長、事務局長)死亡の場合には、生花を供え弔電を打ち弔意を表す。

(2) 評議員死亡の場合には、弔電を打ち弔意を表す。